

【村上財団 パブリックリーダー塾】 募集要項

1. 本プログラムの目的

世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数2022によれば、日本のジェンダー平等は146か国中116位と先進国最低レベルです。多様化する社会には多様なリーダーが必要であり、ジェンダー平等において大きく遅れを取っている日本には、今こそ女性のパブリックリーダーが求められています。

村上財団（以下「当財団」といいます。）では、日本の社会課題に正面から取り組む志をもった女性たちに対し、経済的支援及び実践的な学習機会の提供（以下「本プログラム」といいます。）、そして志を同じくする女性参加者同士のコミュニティを構築することで、次世代を担う女性政治家を輩出し、日本の社会的課題の解決とジェンダーギャップ解消を目指して参ります。

2. 当財団からの支援

将来的に政治家を志す10代、20代、30代の女性を公募し、公正・中立な審査委員会の審議を経て、パブリックリーダーとして今後の活躍が期待される適切な対象者を選定、教育プログラムを無償提供します。なお、応募者の個別具体的な政治思想や、支持政党、国政・地方政治の別は問いません。

（1）支援人数

10～20名程度

（2）求める人物像

日本社会に対する問題意識と明確なビジョンを持つ方

（3）支援内容

- ① 講師を招いた政治関連講義・合宿
- ② （日本国内かつ首都圏外にお住いの場合）対面授業への出席にかかる交通費
- ③ （6歳以下のお子様がいらっしゃる場合）託児サービス
- ④ チャレンジサポート100万円の支給

（4）支援条件

ア 全支援共通の条件

- 上記(3)のいずれかの支援開始日までに、当財団が別途提示する覚書の内容に同意の上、署名及び捺印をし、当該覚書を当財団へ提出すること。

イ 交通費支援の条件

- 交通費は、以下の全ての条件を満たした場合にのみ、事後的にその実費をご本人にお支払いします。
 - 日本国内、かつ首都圏以外に現住所をお持ちの方
 - パブリックリーダー塾（以下「当塾」といいます。）の対面授業に参加するべく、現住所と都内授業会場を往復するために、車（高速バス等）、電車（含む新幹線〈グリーン車を除く〉）、飛行機（エコノミークラスのみ）等の交通手段を実際に利用された方
 - 領収書を提示いただける方、及び当該交通手段の利用を証明できる方
- 航空券代をお支払いするのは、車・電車のみ利用では移動に著しく時間がかかってしまう（所要合計時間が片道4時間程度を上回る）場合のみとさせていただきます。
- その他、交通費支給の必要性に関する判断が難しい場合など、個別の対応を取る場合がございます。

ウ チャレンジサポート支援の条件

- 当塾が実施する講義及び合宿の全日程のうち、欠席日数が4分の1未満であること。
 - 特別な事情により講義を欠席する場合は、必ず事前に事由を報告すること。
- 講義に向けた事前課題等を、締め切りまでに滞りなく提出すること。

(5) 留意事項

当財団において政治資金規正法第3条第4項に規定する「公職の候補者」に該当すると判断した場合、上記(3)の支援のうち、③及び④の各支給ができないほか、①の講義及び合宿への参加費として別途20万円をお支払いいただく必要がございます。

なお、上記(3)の各支援の開始後から本プログラムの終了までの間に、当財団が「公職の候補者」に該当すると判断した場合には、(A) 該当日以降に支給した上記(3)②の交通費及び③の託児サービス利用料並びに (B) 上記(3)④のチャレンジサポート100万円全額をご返金頂くほか、(C) 上記(3)①の講義及び合宿への参加を継続するときに限り本プログラム参加費として別途20万円をお支払いいただく必要がございます。

3. 当塾の特徴

本プログラムには下図のような特徴があります。

| COMMUNITY | CAREER | LEARN | POLICY MAKE |
|--------------------------------------|--|---|-------------------|
| 政党や思想を超え、政界を目指す女性同士のコミュニティに加わることができる | 様々（地方・国政・与野党・無所属）な政治家からキャリア形成の実体験を聞くことができる | 様々な政策について議論し学ぶことができる （こども女性活躍政策・経済金融政策・DX政策、等） | 希望者には政策立案のサポートがつく |

4. 講義及び合宿の概要

(1) 講義・合宿の日程

- 講義：2023年9月9日、10月7日、10月21日、11月4日、11月18日、12月2日、12月16日
2024年1月13日（いずれも土曜日、下線はオンライン）
- 合宿：2023年9月23日（土）～24日（日） 終日

(2) 会場

- 東京都内（5日程）
- オンライン（3日程）
- 東京から2～3時間程度の地方都市（合宿、1泊2日）

(3) 主な学習内容

| 社会問題 | リーダーシップ ^o | 行政機構・選挙戦略 |
|------------|----------------------|------------|
| こども・女性活躍政策 | 傾聴力 | 女性の政治参加 |
| 経済・金融政策 | 対話力 | 日本の行政機構 |
| DX 政策 | 交渉力 | 選挙制度・戦略 |
| 外交・安全保障政策 | 説得力 | 選挙ハラスメント対策 |

5. 応募要件

次の要件をすべて満たす個人が応募可能です。

- 応募時点で10代、20代、30代の女性であること（性自認が女性の方を含む）
- 本プログラムの趣旨に賛同し、将来的に政治家となる志を有すること（但し、応募時点において政治資金規正法第3条第4項に規定する「公職の候補者」に該当しないこと）
- 対面の講義に全て参加できること
- 当財団の求める、以下の人物像に合致すること
日本社会に対する問題意識と明確なビジョンを持つ方
- 反社会的勢力（暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業・団体、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他これらに準ずる者をいう）に該当しない、かつ関わっていないこと
- ネットワークビジネス、マルチ商法、宗教、保険、同業者による勧誘などを行っていないこと
- 過去5年の間に禁固以上の有罪判決を受けていないこと
- 本プログラム開始後、インタビューや、写真・動画の提供をお願いした際に、これに協力すること
- 現在被選挙権を有する、あるいは近い将来被選挙権を取得する可能性の高い方（25歳未満、帰化予定者など）

6. 審査方法

[応募申請フォーム](#)より提出された応募内容をもとに審査を行います。応募内容の詳細は、「7. 応募手続き」をご参照ください。

(1) 審査方法

事務局、及び第三者の有識者による公平・中立な審査委員会を設置し、書面による一次審査及び面接による二次審査を行います。一次審査通過者には、審査会終了後にご連絡し、オンラインでの二次審査会の面接時間をメールにてご案内いたします。

(2) 審査結果の通知・公表

審査の結果は、各審査終了後にその合否に拘らずメールにて通知します。なお、採否の理由などに関するお問い合わせには一切応じかねます。

7. 応募手続き

(1) 応募期間

2023年5月15日（月）～6月11日（日）23：59 まで（締切厳守）

(2) 応募方法

応募URL：<https://pro.form-mailer.jp/fms/2875f933263112>

- ※ 応募申請フォーム（上記）から応募内容の記入と提出資料のアップロードをしてください。
- ※ 応募には下記が必要になります。
 - ① ご本人の写真（顔がはっきりと分かるもの。必ずしも履歴書用の写真でなくても構いません。）
 - ② 履歴書（日本語、または英語）
 - ③ あなたが解決したいと考えている日本の問題点を1つ挙げた上で、その解決に向けた具体案を記述していただきます。（目安：200～500文字程度）
 - ④ あなたがパブリックリーダーになりたい理由について、ビデオに収めてお送りいただきます。ご自宅などで、お手元のスマートフォンなどに向かって数十秒～数分程度話されている簡素な動画を想定しています。

(3) 応募に関する問い合わせ先

応募に関してのお問い合わせは、下記お問い合わせフォームからお願いいたします。

<https://pro.form-mailer.jp/fms/657dbbf4261817>

(4) 個人情報の取り扱い

当財団のプライバシーポリシー（<https://murakamizaidan.jp/about-privacy/>）を事前によくご確認ください。当塾への応募時点で、当財団のプライバシーポリシーをよく確認し同意したものとみなします。

8. 選考スケジュール（予定）

一次選考：書類審査（2023年6月中）

二次選考：面接審査（2023年7月14日（金）～7月27日（木）、オンラインにて実施）

結果通知：2023年8月7日（月）以降 順次

9. その他の事項

（1）申告内容について

- 応募フォームにてお送りいただいた情報や、面接審査中のご発言内容には、偽りが無いようお願いいたします。
- 応募に虚偽の内容が含まれていたことが発覚した場合、応募又は合格を取り消す場合がございますので、予めご承知おきください。
- 面接選考を通過された場合、身元確認のため、初回授業で顔写真付きの身分証のご提示をお願いいたします。
- 本プログラムの参加申し込み（応募）時点で未成年者であった方については、それぞれ以下のご対応が必要となります。

（i）2023年8月7日までに満18歳となる方

- 当財団から当該合格者に対して、合格通知後に改めて本プログラムの参加の意思を確認させていただきます。

（ii）2023年8月7日時点において満18歳未満の方

- 二次選考の実施までに法定代理人（保護者など）の同意書をご提出頂きます。

（2）チャレンジサポートについて

- 政治資金規正法により、チャレンジサポートの100万円は選挙活動の資金に充てることができません。念のため、チャレンジサポートの資金使途につきましては、事後的に事務局までご報告をお願いします。
- チャレンジサポートの100万円は、本プログラムの最終日程後、本募集要項 2.（4）ア及びウに記載の支援条件を満たした方に振り込みます。
- チャレンジサポートの100万円の受領を辞退することは可能です。二次選考通過のご連絡の後に、事務局より受領の意思を確認致します。

（3）メディア等の取材について

- 財団の広報活動の一環として、当塾生として選ばれた方にはインタビューのお願いや、写真・動画の撮影・提供をお願いする場合があります。可能な範囲で構い

ませんので、ご協力ください。

- また、当塾の授業に、外部メディアが取材に入る場合がございます。その際、お写真の掲載やお名前の使用の可否等について個別に確認させていただきます。
- 外部メディアから当塾生に対して個別の取材が申し込まれる可能性がございます。当塾に関する内容を聞かれることが事前に明らかとなっている場合は、予め事務局までご連絡ください。

(5) その他

- 本プログラムへの参加決定後、当財団と「覚書」を取り交わし、所定の手続きを経て本プログラムへご参加いただけます。当財団が定める期限内にお手続きいただけない場合は、交付決定を取り消される場合があります。
- SNS等において、当財団及び当財団関係者等の名誉を毀損するような内容の投稿を行う行為は厳にお控えください。
- 授業中の講師の発言又は配布された資料などを、SNS等に拡散する行為はご遠慮ください。また、当該拡散行為によって生じたトラブルに関して、当財団としては一切の責任を負いかねます。

【参考】応募フォーム入力事項

※ 〈選択〉 以外は自由記入となります。

■ メールアドレス

■ 氏名フルネーム

■ 性別 (性自認のみが女性の場合も含む)

〈選択〉 女性/その他:

■ 生年月日

■ 【2023年8月7日時点で18歳未満である方のみ】本プログラムの参加には、保護者の同意が必要です。二次選考に進まれた際に、書面等で保護者の同意の有無を確認します。

〈選択〉 はい、上記内容を良く理解しました。/その他:

■ 国籍

〈選択〉 日本 (近い将来、帰化する予定の方を含む) /その他:

■ 現住所 (海外にお住まいの方は、英語で構いません。)

- **電話番号**（メールでご連絡がつかなかった際に使用します。）
- **職業**（自営業、会社員、パート、主婦など）
- **所属企業等の名称**
- **政治関連の実務経験**（これまでに政治家の秘書や選挙活動等のご経験がございましたらご記入ください。）
- **ご本人の写真のアップロード**（顔がはっきりと分かるもの。履歴書用の写真でなくても構いません。）
- **写真の説明**（複数人写っている場合は、どなたがご本人なのか等。証明写真の場合は不要です。）
- **履歴書のアップロード**（英語でも構いません。）
- **公職の立候補者**（応募時点で、政治資金規正法第3条第4項の定める「公職の立候補者」に該当しますか？）

〈選択〉該当する（該当する場合、本プログラムにはご参加いただけません。）/該当しない/
その他:
- **対面授業に参加できない、もしくは参加が難しい特別な事情があれば予めご教示下さい**
- **あなたが解決したいと考えている日本の課題を1つ挙げた上で、その解決に向けた具体案を記述して下さい（目安：200～500字程度）。**（WordやPDFで作成し、アップロードしてください。WordやPDFでのご提出が難しい場合は、フォームに直接入力可能）
- **「なぜパブリックリーダーになりたいのか」を数十秒～数分のビデオに収め、提出してください。**（スマートフォン等で撮影した動画を、URL作成サービス「ファイルなう <https://d.kuku.lu/>」を利用してアップロード（「ファイルをアップロード」からファイル選択または「ファイルをアップロード」にファイルをドラッグ&ドロップ）することによりURLを作成し、そのURLをフォームに入力してください。）

以 上